

鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合に関する説明会会議録

日時 令和7年1月13日（月）

午後2時～午後3時

場所 鴨島公民館 視聴覚室

出席者数 50人

次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 説明
 - (1) 生徒数及び学級数の推移予測
 - (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言
 - (3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果
 - (4) 統合に関する方針
 - (5) 統合準備委員会の体制（案）
- 4 質疑応答
- 5 教育長あいさつ
- 6 閉会

会議の経過

事務局から説明	(1) 生徒数及び学級数の推移予測 本年度の鴨島東中学校の生徒数は、通常学級106人・特別支援学級14人の合計120人で、2年生が1クラスとなっている。 令和9年度には、すべての学年で1クラスとなる見込みであり、令和18年度には本年度の約半数の63人になる見込みである。 鴨島東中学校と鴨島第一中学校が統合した場合の生徒数は、令和9年度では通常学級387人・特別支援学級42人の合計429人で、計13クラスになる見込みである。 両校が統合した場合、1学年3クラス以上を確保できる見込みであり、望ましい学級数を維持できると考えている。 (2) 鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会の提言 検討委員会から「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合し、生徒にとってより望ましい教育環境を早急に実現すること。」、また、「牛島小学校及び森山小学校は、直ちに学校再編の必要性はない。」との提言をいただいた。 また、統合に当たっての「留意事項」として、学校運営の円滑な移行に取り組むこと、できるだけ早期に方向性を示し統合すること、通学支援や通学路の安全対策についてのご意見をいただいた。
---------	---

(3) 鴨島東中学校の統合に関するアンケート結果

対象者437人中234人の方から回答があり、回答率53.5%、「統合に賛成」が51.3%、「統合に反対」が28.6%、「どちらともいえない」が20.1%となった。

「賛成」の理由は、生徒数を理由とするもの、「反対」の理由は、通学距離を理由とするもの、「どちらともいえない」の理由は、通学距離や通学支援を理由とするものが最も多い結果となった。

(4) 統合に関する方針

「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合する。」「統合の時期は、令和9年4月1日」、「統合校の位置は、現在の鴨島第一中学校の場所」との方針を決定した。

基本的事項について、「統合の時期」は、令和9年度にはすべての学年で1クラスになる見込みであること、統合の準備に2年は必要であることから令和9年4月1日とした。

「統合校の名称及び校舎」について、学校の名称は生徒及び保護者の意向を十分に踏まえる必要があることから、準備組織の中で協議する。また、校舎は鴨島第一中学校校舎を使用し、空き教室の改修で対応する予定である。

「通学区域」は、鴨島地区全域となる。

「通学への対応」は、通学の負担が著しく増える生徒に対しては、スクールバスを念頭に必要な支援を検討する。通学路の安全対策も学校の協力も得ながら必要な措置を講じる。

「統合に向けた交流活動」は、新しい環境へのストレスを少しでも緩和し、両校の生徒が学校生活を円滑に開始できるよう、統合までの2年間、様々な交流活動に取り組む。

「準備組織」は、準備組織を設置し、教育計画や通学体制等の必要な事項について協議する。

(5) 統合準備委員会の体制（案）

教育計画や通学支援などの統合に向けて必要な事項を協議する「統合準備委員会」を設置し、「総務部会」、「学校運営部会」、「通学部会」、「PTA部会」を設ける。

令和7年4月の設置を目途に、本年度中に各部会の人選や、具体的な協議事項の洗い出しを行う予定である。

質疑応答

【以下質疑応答】

○2校統合により、新しい学校をつくるという考え方で良いか。

→両校の取り組みは異なっているが、それぞれ良いところがあり、準備委員会の学校運営部会において、統合後の学校の中身を詰めていく。

○校名、校歌、制服・体操服などは、準備委員会の中で検討され、変更になる可能性があるということか。

→可能性はある。準備委員会にPTAの方にも入っていただき、ご意見を伺った上で決定していく予定。

○統合時に鴨島第一中学校に在籍している生徒の制服や体操服はどうなるのか。

これから鴨島第一中学校に入学する子どもの保護者の意見も広く聞いて欲しい。

→準備委員会の中で、生徒や保護者の方々のご意見を伺った上で、制服や体操服などのことについて決定していくが、仮に制服や体操服などが変わるようになったとしても統合時の2年生、3年生は卒業まで同じ制服、新入学生は新しい制服になると思われる。

○統合までの2年間で具体的にどのような交流事業を予定しているのか。

→現時点で決まっているものではなく、準備委員会の学校運営部会で交流事業を検討していく予定。一例としては、合同での学校行事（遠足や文化祭）、ICTを活用したオンラインでの合同授業、合同での部活動などが考えられる。

○準備委員会のPTA部会の開催頻度は決まっているのか。また、部会の開催は夜間になるのか。

→部会の協議事項によって開催頻度を決めていくことになる。部会には、教育委員会事務局、教職員、また保護者の方を中心に構成するため、開催は主に夜間になると思われる。

○令和9年度の修学旅行の行き先の決定や費用の積立などは、統合前から行われるのか。

→現時点では未定。修学旅行は、両校のすり合わせが必要な事項であるため、準備委員会の中で決定していくことになる。

○それぞれの地区の良さが今後さらに良くなるよう、準備委員会に学校運営協議会委員を入れるなど、様々な意見を取り入れられる人選をしてほしい。

→学校運営に地域の声を取り入れることが学校運営協議会の大きな目的でもある。準備委員会でもその声をしっかりと活かしていけるような人選を心掛ける。

○鴨島東中学校の利活用について、話がまとまれば保護者に案内してほしい。

→準備委員会で決まったことについては、保護者の皆様にしっかりと公表していく。